

「月山を外来植物から守ろう パート 18」実施報告書

月山ビジターセンター運営協議会

1 目的

磐梯朝日国立公園出羽三山地域にあり、古くから信仰の山として知られる月山には、参拝や登山、観光を目的とした大勢の利用者が訪れます。しかし、近年は、外来植物や月山の高標高域には本来植生していない低地性植物（オオバコ、セイヨウタンポポ、エゾノギシギシなど、以降外来植物と呼ぶ）の植生が確認されています。こういった外来植物は、登山道や山小屋等の施設整備などの資材に種子が紛れて侵入し、さらに登山者の靴底などに付着して運ばれて植生範囲を拡げていると考えられています。本来、月山に植生している植物の存在を脅かすことになりかねません。

月山の中でも特に利用者の多い登山口の一つである羽黒口での作業は、月山公園線開通前にセイヨウタンポポなどが開花する前後の時期に実施するため、作業が利用者の目に触れないことから、月山ペアリフト上駅周辺での作業は、多くの利用者の目に触れ易い国民の祝日「山の日」に実施することで、外来植物除去の必要性と植生の保全保護の重要性に理解と関心を深めてもらうため実施しました。

2 主催、共催、後援、協力

主催：月山ビジターセンター運営協議会

共催：休暇村庄内羽黒、月山ガイド協会、山形県自然公園保全整備促進協議会羽黒支部

後援：西川町、鶴岡市

協力：月山観光開発株式会社

3 実施日、天候、日程

実施日：令和元年 8 月 11 日（日）山の日

天 候：晴れ時々曇り

日 程： 7:00 鶴岡市集合

（バス移動）

8:20 姥沢駐車場着（姥沢駐車場集合組が合流）

8:45 月山ペアリフト下駅発

（リフト乗車）

9:05 月山ペアリフト上駅着 開会式

9:10 外来植物除去作業

（作業箇所・除去する植物について説明後、作業開始）

11:00 外来植物除去作業終了 後片付け・閉会式

11:10 月山ペアリフト上駅発
(リフト乗車)
11:30 月山ペアリフト下駅着
11:55 姥沢駐車場発
(バス移動)
12:05 弓張平公園着 昼食休憩
13:00 弓張平公園発
(バス移動)
13:20 道の駅にしかわ着 水沢温泉館で入浴休憩
14:20 道の駅にしかわ発 (姥沢駐車場集合組はここで解散)
(バス移動)
15:35 鶴岡市着、解散

4 参加者 一般参加者 23 名 (うち 2 名が姥沢駐車場集合)

羽黒地区パークボランティア 4 名

月山ガイド協会 1 名

西川町商工観光課 2 名

月山ビジターセンター運営協議会 1 名

合計 31 名

5 外来植物除去作業内容及び許認可など

場 所：磐梯朝日国立公園 出羽三山地域

月山ペアリフト上駅周辺 (山形県西村山郡西川町姥沢)

対 象 種：オオバコ、エゾノギシギシ、セイヨウタンポポ等

作業方法：草取り器具を用いて手作業で全草 (根を含む) を除去

除 去 量：75.4 kg

- 1) 外来植物の除去業者の証しとして腕章 (6 写真を参照) を着用。
- 2) 高山植物の採取と誤解を招かないように除去作業地周辺に「外来植物除去作業中」等の掲示。
- 3) 除去作業地は国立公園第 2 種特別地域に該当。除去対象種 (オオバコ、エゾノギシギシ、セイヨウタンポポ) は磐梯朝日国立公園指定植物外のため、自然公園法の手続きは不要。
- 4) 同地は国有林野のため、林野庁東北森林管理局山形森林管理署に入林届を提出 (6 写真を参照)。当該国有林野の借地者である月山観光開発株式会社の了承を得て実施。
- 5) 除去した外来植物は拡散する事が無いように取扱い、作業後に公園外へ搬出して適切に処理をした。

6 写真



作業の様子①



作業の様子②



作業前①



作業後①



作業前②



作業後②



作業前③



作業後③



作業前④



作業後④



除去した外来植物（重量 75.4 kg分）



掲示した「外来植物除去作業中」の看板



腕章



作業に使用した除草器具



入林届

■今回の活動成果と今後に向けて

参加者・スタッフ総勢 31 名で、月山ペアリフト上駅の休憩所や公衆トイレ周辺、木道や敷石の隙間など、人の出入りが多い場所に植生していた、環境順応性が高く繁殖力も強いオオバコ・エゾノギシギシ・セイヨウタンポポなどの外来植物を 2 時間の作業で 75.4 kg 分を除去しました。

今回の除草した場所のほかに、除去できない場所(緑化作業時に外来植物の交った種子を吹き付けたところ)については、定期的な刈り払い作業を実施することにより、種子を付けさせないことにより、生息範囲を広げるところを抑制できると考えられますので、定期的な刈り払いと種子除去マットの設置をお願いしていきます。

また、今後の活動として、外来植物のことを広く知っていただく機会として、作業当日は一般の公園利用者に、範囲を決め「一人一本、外来種を除去しよう」というような取組みをすることによって、月山の植生保全保護の輪が広がっていくと考えます。

現在は、当協議会が中心となって同地での除去作業を実施していますが、今後も続けるためには、多くの方の参加していただくように、自治体や関係団体の御協力が必要となりますので、これからもよろしくお願いいたします。

■その他

暑い中、除去作業にご協力いただきました参加者の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

当該地での作業や月山ペアリフトの利用などについてご配慮いただきました月山観光開発株式会社様、実施にあたってご後援・ご協力いただきました西川町様、鶴岡市様、休暇村庄内羽黒様、月山ガイド協会様、山形県自然公園保全整備促進協議会羽黒支部様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

月山を愛する方々、これからも月山を取り巻く自然保全活動にご協力くださいますようお願いいたします。微力ではありますが、保全活動に加えて山形の自然の素晴らしさ、楽しさを堪能できるような催しを行っていきますので、今後ともよろしくお願いいたします。